

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2020-177933 (P2020-177933A)

【公開日】令和 2 年 10 月 29 日 (2020.10.29)

【年通号数】公開・登録公報 2020-044

【出願番号】特願 2020-133672 (P2020-133672)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/06

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 28 日 (2021.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、

第 1 の電極と、

第 2 の電極と、

前記第 1 の電極と前記第 2 の電極との間に設けられた発光層と、

前記第 2 の電極の前記発光層とは反対側に設けられた平坦化層を含む封止層と、

前記第 1 の電極と同層に設けられ、平面視において前記第 1 の電極と前記基板の外縁との間に設けられるダミー電極と、

を備え、

平面視において、前記平坦化層の外縁は、前記発光層と重なり、

平面視において、前記平坦化層の外縁は、前記ダミー電極の外縁と前記発光層の外縁との間に位置する、

発光装置。

【請求項 2】

前記基板と前記平坦化層との間に設けられ、配線と前記第 2 の電極との間を電氣的に接続させるコンタクト部を有する、

請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 3】

平面視において、前記平坦化層の外縁は、前記ダミー電極と前記コンタクト部との間に位置する、

請求項 2 に記載の発光装置。

【請求項 4】

平面視において、前記平坦化層は、前記ダミー電極の全体と重なる、

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の発光装置。

【請求項 5】

基板と、
第 1 の電極と、
第 2 の電極と、
前記第 1 の電極と前記第 2 の電極との間に設けられた発光層と、
前記第 2 の電極の前記発光層とは反対側に設けられた平坦化層を含む封止層と、
前記第 1 の電極と同層に設けられ、平面視において前記第 1 の電極と前記基板の外縁と
の間に設けられるダミー電極と、
を備え、
平面視において、前記平坦化層の外縁は、前記発光層と重なり、
平面視において、前記ダミー電極の外縁は、前記平坦化層の外縁と前記発光層の外縁と
の間に位置する、
発光装置。

【請求項 6】
前記基板と前記平坦化層との間に設けられ、配線と前記第 2 の電極との間を電氣的に接
続させるコンタクト部を有する、
請求項 5 に記載の発光装置。

【請求項 7】
平面視において、前記平坦化層は、前記ダミー電極の一部と重なる、
請求項 5 または 6 に記載の発光装置。

【請求項 8】
請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の発光装置を備える電子機器。